

博物館学芸員課程

＊2007年度より開設

＊博物館学芸員課程は現代社会学部社会システム学科に設置されていますが、他学科生も履修できます。

「学芸員」とは、博物館に勤務し、文化遺産や自然科学に関する資料を収集・保管・整理し、それを公開し、また施設利用の便をはかる等の活動をすると同時に、資料に関する調査、研究を行う専門的技術を有する職員です。

本学では、博物館法に定められている学芸員の資格を得るため博物館学芸員課程を設置しています。

本課程履修希望者は、以下の諸注意を読み課程履修科目表に従い履修計画を立ててください。

履修上の心構え

博物館学芸員課程の履修にあたっては、適性と将来計画についてよく考え、安易な気持ちではなく、相当の意志と意欲をもって臨んでください。博物館学芸員課程で学ぶ内容は、幅広い分野の学習に有益なものです。ただし、履修のために費やす労力も大変ですし、課程履修により時間割に制約ができ、卒業に必要な科目の選択の幅を狭めることもあります。

学芸員資格の取得方法

学芸員の資格を得るには、『博物館法』第5条第1項第1号により下記の2つの条件をそなえなければなりません。

- (1) 学士の学位を有すること。
- (2) 博物館に関する所定科目の単位を修得していること。

博物館実習(必修科目)

(1) 「博物館実習」では、大学における学内実習、事前・事後指導、博物館における実習※を予定しています。

※博物館における実習期間は、1～2週間程度ですが、実習先により異なります。

※原則として、実習先の博物館は各自で依頼することになります。帰省先の博物館等を含め、専門分野や興味・関心に応じて選択することができます。

(2) 「博物館実習」を履修登録するためには、博物館実習履修前提条件を満たす必要があります。

(3) 博物館実習に係る費用について、実習費（事務連絡費を含む）として5,000円を別途徴収します。（納入後は、一切返金できません。）

(4) 実習が本学の授業期間中に行われ、平常の授業に出席できない場合には、免許・資格課で発行する「公欠届」を申請し、実習開始前に当該授業担当者に提出してください。

(5) 博物館実習は、全面的に実習先の好意に支えられて行われている制度です。実習決定後は、例え一般企業の採用試験等と日程が重なったとしても、実習を取り止めたり、休むことは許されません。

博物館実習登録のためのスケジュール(重要)

(1) 3年次春学期（6～7月）に行う博物館実習に関する説明会に出席し、仮登録する。

※この手続きを行わないと、(2)に進めません。

(2) 3年次秋学期（11～12月）に「博物館実習」の予備登録を行う。

※「博物館実習」は複数クラス（両キャンパス）開講されます。希望したクラスの人数が多い場合は、他のクラスに配当される場合があります。配当結果は3年次の1月頃に発表します。

(3) 4年次春学期の履修登録の際に、正しく登録されているか、各自で確認する。

(注) スケジュールの詳細は掲示で確認すること。

学芸員課程修了証書の交付

学芸員の資格を得るための条件を備えた者には、本学卒業時に「学芸員課程修了証書」が授与されます。（修了証書は申込不要です。）

また、「学芸員資格取得証明書」を発行することができます。（証明書は申込が必要です。）

その他

放送大学単位互換科目を本学の博物館学芸員課程科目（必修科目）の単位として充てることができます。（ただし2012年度以降入学生が2013年度以降に単位を修得した場合に限ります。）

博物館学芸員課程 履修科目表

	博物館法施行規則に定める科目 (博物館に関する科目)	単位	本学開講科目	単位	期間 時間	履修 年次	開設 学科	卒業上の 履修方法	備考
必修科目	博物館概論	2	博物館概論	2	秋2	1	GS	選択	
	生涯学習概論	2	生涯学習論	2	半2	2	GS・GK	選択	
	博物館資料論	2	博物館資料論	2	半2	2	GS	選択	
	博物館展示論	2	博物館展示論	2	半2	2	GS	選択	
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	半2	3	GS	選択	
	博物館教育論	2	博物館教育論	2	半2	3	GS	選択	
	博物館経営論	2	博物館経営論	2	半2	3	GS	選択	
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	半2	3	GS	選択	
	博物館実習	3	博物館実習	3	通2	4	GS	自由選択	
	合計	19		19					

(注1) 本学では、博物館実習に行く前に満たすべき条件を定めています。この条件を満たしていなければ、「博物館実習」を履修登録することができません。

博物館実習履修前提条件：「博物館概論」を含め、必修科目から8単位以上、選択科目から6単位以上を修得済みであること。

(注2) 「博物館実習」は自由選択科目であり、卒業必要単位には算入できない。

	所定の科目 (分野)	本学開講科目	単位	期間 時間	履修 年次	開設 学科等	備考
選択科目	文化史	比較文化概論	2	半2	1	GS	
		地理学	2	半2	3	GS	2018年度以降入学生
		地理学Ⅰ	2	半2	3	GS	2017年度以前入学生
		地理学Ⅱ	2	半2	3	GS	廃止
		まちづくりの地理学	2	半2	3	GS	
		観光地理論	2	半2	2	GS	
		古代京都の社会Ⅰ	2	半2	3	GS	廃止
		京都の社会史	2	半2	3	GS	
		古代京都の社会Ⅱ	2	半2	3	GS	廃止
		地誌学Ⅰ	2	半2	3	GS	
		地誌学Ⅱ	2	半2	3	GS	
		京都の歴史A	2	半2	1	共通学芸	
		京都の歴史B	2	半2	1	共通学芸	
		日本文化史A	2	半2	1	N	
		日本文化史B	2	半2	1	N	
		書誌学A	2	半2	3	N	2018年度以前入学生
		書誌学B	2	半2	3	N	2018年度以前入学生
		音楽通史B	2	半2	1	O	
		音楽史(近・現代)	2	半2	3	O	
		メディア文化史	2	半2	2	J・MS	
	美術史	Historical View of Britain／イギリス史	2	半2	2	K	
		Historical View of North America／北米史	2	半2	2	K	
		服飾文化史	2	半2	2	L	
		生活文化史	2	半2	2	L	
		住文化史	2	半2	2	L	
	考古学	近世京都の美術Ⅰ	2	半2	2	GS	廃止
		京都の美術史	2	半2	2	GS	
		近世京都の美術Ⅱ	2	半2	2	GS	廃止
		美術史	2	半2	1	共通学芸	
		生活美術史	2	半2	3	L	
	民俗学	史跡・文化財論	2	半2	2	GS	廃止
		京都の文化財論	2	半2	2	GS	
		考古学Ⅰ	2	半2	3	GS	
		考古学Ⅱ	2	半2	3	GS	
	化学	文化人類学概論	2	半2	1	GS	
		オセアニア地域文化論	2	半2	2	GS	
		国際生活文化論	2	半2	3	L	
		日本民俗学A	2	半2	3	N	
		日本民俗学B	2	半2	3	N	
		薬の発明・発見Ⅰ	2	半2	1	共通学芸	
		薬の発明・発見Ⅱ	2	半2	1	共通学芸	

(注1) 選択科目より、2分野以上にわたり12単位以上修得すること。

(注2) 各科目の開講キャンパスに注意して履修すること。

(注3) 廃止された科目であっても、その単位を修得済の場合は、その単位は博物館学芸員課程で有効である。